



日本スポーツマスターズ 2026 石川大会記念事業

全日本パワーリフティング選手権大会「第31回マスターズクラシック部門」
(第31回ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会)

2026世界クラシックパワーリフティング選手権大会 選考競技会
2026アジアクラシックパワーリフティング選手権大会 選考競技会
2027 アジアン・アフリカンパシフィック大会「クラシックパワーリフティング種目」 選考競技会

開催要項

※本大会は、競輪の補助を受けて実施します

- ・ 日 時 : 令和8年7月18日(土)~7月20日(月・祝)
受付9:00 開始式10:45 競技開始11:00~
- ・ 会 場 : いしかわ総合スポーツセンター サブアリーナ (別紙 案内図参照)
〒920-0355 石川県金沢市稚日野町北222 TEL: 076-268-2222
当日の問合せ・連絡先 090-8790-3400 (石川県パワーリフティング協会 山口)
- ・ 主 催 : (公社) 日本パワーリフティング協会
日本スポーツマスターズ2026石川大会実行委員会
- ・ 主 管 : 石川県パワーリフティング協会
- ・ 協 力 : 北信越ブロック所属県パワーリフティング協会
- ・ 後 援 : [予定]
スポーツ庁、(公財) 日本スポーツ協会、(公財) 日本オリンピック委員会、石川県、
金沢市、金沢文化スポーツコミッション (公財) 石川県スポーツ協会、北國新聞社
- ・ 階 級 : 男子8階級: 59、66、74、83、93、105、120 kg、+120 kg級
女子8階級: 47、52、57、63、69、76、84、+84 kg級
- ・ 参加区分 : ①マスターズⅠ カレンダーイヤー 40~49歳
②マスターズⅡ カレンダーイヤー 50~59歳
③マスターズⅢ カレンダーイヤー 60~69歳
④マスターズⅣ カレンダーイヤー 70~79歳
⑤マスターズⅤ カレンダーイヤー 80歳以上
カレンダーイヤーとは、大会開催年の12月31日時点の年齢を指す。

- ・競技方法：JPAルールによるラウンド制。ノーギア競技。

☆当日の検量体重に過不足が生じた場合は失格となる。

- ・参加資格：① 令和8年度JPA登録選手で、参加標準記録（令和7年7月19日から令和8年6月8日までの公認大会で収めた記録を有効とする）を突破しており、大会時カレンダーイヤーで40歳以上、且つ日本国籍を有する方。外国籍の場合は、上記条件に該当し日本に1年以上適法に在住する方。
- ② カレンダーイヤー39歳の選手は、本大会にオープン参加することができる。この場合、賞状等は授与されない。

・標準記録

出場標準記録は以下のとおりです。

	階級 Kg 級	マスターズ I	マスターズ II	マスターズ III
男子	59	445	420	390
	66	470	450	400
	74	490	480	410
	83	520	515	405
	93	530	525	430
	105	570	550	445
	120	590	570	460
	120 超	600	580	475

	階級 Kg 級	マスターズ I	マスターズ II	マスターズ III
女子	47	240	230	190
	52	260	240	200
	57	270	250	210
	63	275	260	220
	69	280	270	230
	76	300	280	240
	84	320	300	250
	84 超	340	330	260

(注) 男子マスターIV, Vの標準記録は設定しないが、参加標準記録の有効期限内に、最低1回以上の公認大会の参加実績（記録）が必要である。

☆原則、標準記録取得の競技種別とカテゴリーは同一であること。本大会は競技種別「パワーリフティング競技」のカテゴリー「クラシック部門」で取得した標準記録が有効となる。

☆選手は標準記録を突破した階級と異なる階級への出場はできない。但し、より上位階級の標準記録を突破している場合は、その上位階級へ出場することができる。

例) 74kg級で公認大会へ出場した際、83kg級の標準記録を突破している選手は、83kg級に出場できる。下位階級の66kg級へは出場できない。

☆標準記録の申告は出場資格に関する重要な情報です。虚偽申告が判明した場合は、大会記録抹消及び「競技者等に関する倫理規程」第4条第1項第9号違反となり、処分の対象となります。慎重に入力（申告）してください。

☆ウォーミングアップ場において、器具の乱暴な扱い（バーベルをコントロールせずに落下させる、プレートを投げる等）をする者に対しては、施設管理権に基づき累積カード制による措置（3回目で即

時退場)をとります。

・推薦 枠：主管協会に所属する選手であって、主管協会理事長推薦に基づき、技術委員長が参加を認めた場合は、男女合計3名まで主管協会推薦枠で出場することができる。

・服 装：JPA競技規則のノーギアによる服装に準じる。
・リフティングスーツ（ツリパン）とTシャツとする。
・IPF公認品リストラップ・ニースリーブが使用可。
・JPARルール適合のベルト。
・スパッツ、ベンチシャツ、スーパースーツ、ニーラップの使用は不可。
☆指定の服装を着用しない場合は失格となる。詳細はルールブックを参照のこと。

・表 彰：個人戦 男女別各階級1～3位＝メダルと賞状 4～6位＝賞状
団体戦 ①クラブ対抗団体戦＝1～3位まで楯、1～6位まで賞状
②都道府県別団体戦＝1～6位まで賞状
<団体戦は令和8年度JPA登録団体で、1団体3名以上>
得 点 1位＝12点、2位＝9点、3位＝8点、4位＝7点、5位＝6点、6位＝5点、7位＝4点、8位＝3点、9位＝2点、10位以下＝1点（1団体上位5名までが得点計算対象）

★点数配分は以下の通りである。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位以下
12	9	8	7	6	5	4	3	2	1

点数計算対象は得点上位5名まで。マスターズの年齢区分は無関係で計算される。

特別賞 優秀選手賞＝男女各1名（IPF Pointsで選考する。）

表彰状は後日ホームページよりダウンロード方式にて提供します。

・参加費：個人戦：10,000円
団体戦＝無料、自動エントリー方式

・申込方法：インターネット申し込み。
シクミネットマイページへログインし、イベント情報より、「全日本パワーリフティング選手権大会「第31回マスターズクラシック部門」を選択、各種入力の上、申し込みを完了させてください。

・エントリー開始日：令和8年5月9日（土）

・エントリー締切日：令和8年6月8日（月）23：59まで（期日厳守）

- 注) ① 締切までに申し込み及び支払いを完了させること。
② 締切までに支払いを完了させない場合はキャンセル扱いとする。
③ 電話・FAXなど指定方法と異なる申し込みは受け付けしません。
④ お支払い後は、理由の如何を問わず返金できません。
⑤ 申込の完了確認はマイページより行い、電話等でのお問い合わせはご遠慮ください。
⑥ 申込完了後は、登録内容の変更は致しかねます。入力内容を十分見返してから「同意して申し込む」ボタンを押してください。
⑦ 申し込み後、マイページにログインし、支払いをしてください。クレジットカード登録者も自動では決済されません。

・国際大会選考

- ・選考方法は、「国際大会派遣選手選考規程」に基づく。日本独自階級のマスターズVはIPFルール階級のマスターズIVに合算して選考する。

・ドーピング検査

① 検査の実施について

本大会では、JADA（日本アンチ・ドーピング機構）による公式検査と、JPA（日本パワーリフティング協会）が主体となる「簡易ドーピング検査」の2種類が実施される可能性があります。

同意の免責：本大会参加者は、エントリー時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなされます。

身分証明書：検査時の本人確認のため、写真付き身分証明書（運転免許証、マイナンバーカード、学生証等）を必ず持参してください。

② 簡易ドーピング検査の実施と同意書

簡易検査は、皮膚表面から皮脂等を複数回拭き取る方法で行う協会独自の検査です（身体への侵襲はなく、所要時間は数分程度）。選手は「簡易ドーピング検査同意書（別添1）」に署名のうえ、エントリー申込フォームとは別に設けられている「【JPA 提出用フォーム】簡易ドーピング検査に関する同意書兼、検査拒否時の措置通告書」から提出してください。同意書の提出が確認できない場合、本大会への出場は認められません。検査結果および個人情報は、協会の規程に基づき適切に管理されます。ただし、重大な規程違反が疑われる場合には、協会の調査手続に付することがあります。

③ TUE（治療使用特例）の申請

本大会はTUE事前申請対象競技会です。治療目的で禁止物質を使用している選手は、大会開催30日前までにTUE申請を完了させてください。

・アンチドーピング講習会の受講

- ① 令和7年5月31日から令和8年6月8日までの間に受講していること。
- ② 申し込み日までに受講を完了させてください。
[※ドーピング防止講習会事業は日本スポーツ振興センターくじ助成を受けて実施しています。](#)



・摂取サプリメント、医薬品服用の申告

摂取サプリメントや医薬品の服用がある場合は、全ての種類について、参加申込フォームより申告を行ってください。サプリメントの摂取、医薬品の服用がない場合は、ない旨の申告を行ってください。

・出 店 希望者は次のURLよりお申し込みください。 <https://ws.formzu.net/dist/S74578262/>

- ・宿 泊
- ① 宿泊施設は指定しません。各自でご予約ください。
 - ② 体重計は会場にのみ設置します。

・その他：

- ① ゴミは、必ず各自持ち帰りをお願いします。
- ② 別途定めるガイドラインや会場のルールの厳守をしてください。
- ③ 競技エリアに入場する指導者は、公認コーチ1等の指定資格を保有し、ライセンスカードを持参してください。

- ④ 大会中の映像・写真は、JPAの配信や広報、テレビ放送等に使用される場合があります。参加した時点でこれに同意したものとみなされ、掲載後の削除要請には応じられません。
- ⑤ 本大会の申込みにあたって取得した個人情報は、本大会の運営及び国際大会選手選考のためにのみ利用します。
- ⑥ タイムテーブルは、参加者数によって変動しますので、エントリーの公表と同時に提示します。
- ⑦ 開催期間中に発生した事故やトラブルは、参加者本人が自らの責任において解決するものとし、主催者は一切の責任を負いません。
- ⑧ 天災地変、感染症拡大、行政指示等の不可抗力により大会が中止・変更となった場合、主催者の責に帰すべき事由がある場合を除き、参加費の返金は行わないことがあります。
- ⑨ 出場標準記録虚偽記載などで順位繰上げや国際派遣選考の変更が発生した場合、係る費用等が請求されることがあります。
- ⑩ コスチュームチェックを通過した用品には検印を押すことにご了承ください。
- ⑪ YouTube の JPA アカウントにてライブ配信をします。

※ライブ配信事業は日本スポーツ振興センターくじ助成を受けて実施しています。

☆大会使用器具はJPA公認品を使用します。本大会はONI社を予定していますが、都合により変更の可能性があります。

・審判員の募集

- ① 審判員及び陪審員を募集しています。参加可能な資格保有者は、シクミネットのイベント (<https://powerlifting.shikuminet.jp/events/431/>) よりお申し込みください。申し込み締め切り後、「公認審判員選考規程」、「助成金等交付事業に関わる旅費及び諸謝金規程」に基づいて応募、選考が行われ、採用者に連絡がなされます。
- ② 諸謝金や配置等の処遇は配置人員の確定後の連絡となります。
- ③ 審判業務に耐えることができる健康状態である方が応募の条件となります。

JPA技術委員会委員長 二宮正晴

安全に関する注意事項

パワーリフティング競技は極限の重量を扱うため、大怪我をする等の不測の事態が発生する危険があります。選手、役員、スタッフ等の大会関係者全員は、このことを十分に理解した上で安全確保に努めるとともに、競技会場及びウォーミングアップ場においては、下記に例示する注意事項を遵守して大会に臨むようお願いします。

《選手の注意事項》

- ①カラー未装着が原因で落下したプレートによる怪我
⇒ウォームアップの場合も、必ずカラーを取り付けて実施すること。
- ②装着品類の破れによる怪我
⇒装着品類（シングレット等）の劣化や縫い目等について、自己チェックを徹底すること。
- ③スクワット及びベンチプレスのバーベル落下による怪我
⇒選手は慎重にスタートポジションを取ることで、シャフトをしっかり握ること。
特に、スクワット時のバーベル落下は、選手ばかりか補助員も巻き込んだ大きな怪我につながるおそれがあるので、選手は試技途中で立ち上がれない場合でも、絶対に後ろへ投げ出さないこと。必ず肩に担いだままで、補助員の手助けを借りて立ち上がること。
- ④デッドリフトのフィニッシュ後半での怪我
⇒ダウンの合図後に足先へプレートを落下させないように、足幅に十分注意すること。
- ⑤当日の体調不良
⇒安全を優先して、棄権してください。

《補助員の注意事項》

- ①スクワット及びベンチプレスの挙上失敗に伴う怪我
⇒外したプレート等は、つまずいたりしないように、足元近辺には絶対に置かないこと。又、常にバーベルの落下を想定して、選手の動きを見ながらしっかりと補助の構えを取ること。
特に、ベンチプレスで万一の場合の補助動作では、プレート内側直近部分のシャフトを絶対に持たないこと。必ず、シャフトの中央部分やプレート外側部分又はプレート自体を持つこと。
- ②ベンチプレスのバーベル受け渡しの不手際による怪我
⇒センター補助は、選手にバーベルを確実に受け渡しができるように、手を離す際には慎重に行うこと。
- ③デッドリフトの後方転倒に伴う怪我
⇒センター補助は、選手と一緒に倒れることを避けるために、腰を落として補助の構えを取り、選手の動きをよく見ること。

《その他の注意事項》

- ①会場設営時や撤収時
⇒プレート、ラック等の重量物運搬中に、手指、足、腰等に怪我をするおそれがあります。十分に注意して作業を行うこと。大会終了後は、疲れているので、慌てずに慎重に行うこと。
- ②観戦、応援時
⇒器具周辺から離れて見学し、足元に注意すること。
- ③会場内全体
⇒大会会場に掲示されている施設利用上の注意事項、指示事項、禁止事項等に従うこと
- ④保険証（マイナンバーカード）の持参
⇒万一の怪我による救急搬送に備えて、保険証（マイナンバーカード）の持参をお願いいたします。

以上

関係各位

日本スポーツマスターズ2026石川大会記念事業
全日本パワーリフティング選手権大会「第31回マスターズクラシック部門」
(第31回ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会)
大会実行委員長 山口真矢

寄付について (お願い)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、パワーリフティング競技へのご理解とご支援及びご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和8年7月18日(土)から20日(月・祝)に石川県金沢市にて、日本スポーツマスターズ石川大会記念事業、全日本パワーリフティング選手権大会「第31回マスターズクラシック部門」(第31回ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会)が開催されます。

大会の運営には多額の費用が必要であり、開催には運営資金が不足することが予想されています。

つきましては、本協会へのより一層のご支援を賜りたく、下記のとおり寄付を募集いたしますので、特段のご配慮、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

(1) 申し込み先

〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16
公益社団法人日本パワーリフティング協会 財務委員会委員長 芦崎高志
Eメール: jchbm412@ybb.ne.jp

(2) 振込先

銀行名: 三井住友銀行
支店名: 姫路支店
口座番号: 普通 9640140
口座名義: 公益社団法人日本パワーリフティング協会

(3) 金額

一口 3千円

3 申込方法

(1)の担当者へ住所、電話番号、氏名を記載したEメールを送信して、(2)の振込先口座へお支払いください。一口3千円以上であれば、金額及び口数は問いません。誠に恐縮ですが、振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

大会会場案内図

会場：いしかわ総合スポーツセンター サブアリーナ
 920-0355 石川県金沢市稚日野町北 222 TEL：076-268-2222
 開館時間：8:00-22:00



【公共交通機関でご来場の方】

金沢駅西口【7】 済生会病院経由下安原ゆき 総合スポーツセンター前下車 ￥350 (20分)
 金沢駅東口【2】 白菊町経由済生会病院ゆき 総合スポーツセンター前下車 ￥400 (40分)

【車でご来場の方】

北陸自動車道 金沢西インター出口より約5分。金沢駅金沢港口から車で約20分。
 施設内の無料駐車場がご利用になれます。満車時には、併設する西部緑地公園内の
 駐車場もご利用になれます。



簡易検査に関する同意書 兼 検査拒否時の措置通告書

大会名： _____

公益社団法人 日本パワーリフティング協会
アンチドーピング委員長 鈴木 光 殿

私は、本大会への出場にあたり、本協会が定める「ドーピング防止規程」を遵守し、第6条の2に基づく簡易検査（以下「本検査」という）に関し、以下の事項を確認し、同意します。

【確認欄】（該当する以下の□にチェックを入れてください）

簡易検査の実施と協力義務・・・ドーピング行為の抑止及び意図しない禁止物質の摂取防止を目的として実施する本検査の趣旨を理解し、本大会期間中に検査対象者に選定された場合は、係員の指示に従い速やかに検体採取に応じます。

出場要件の確認・・・本検査への協力は、本大会への出場要件であることを確認しました。

検査拒否時等の措置・・・正当な理由なく本検査を拒否・回避した場合、または検査結果に伴う調査に応じない場合は、規程第6条の2第5項に基づき、以下の措置が適用されることを承諾します。

【措置の内容】本大会への出場要件を満たさないものとする。

※ エントリー資格に不備がある状態となるため、当該大会での記録（日本記録等を含む）および順位は一切公認されません。

【署名欄】

私は、上記の「簡易検査の実施と協力義務」、「出場要件」および「検査拒否時の措置」について説明を受け、内容を十分に理解した上で、本大会に参加することを誓約します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名（自署）： _____

※満18歳未満の場合は、「親権者の同意」の署名も必要です。

「健康対策について」

参加申込に際しては、下記の健康チェックリストにより、各自で事前に健康チェックをしてください。当てはまる項目があれば掛かり付け医に相談し、自己の責任において必要な対応を行ってください。大会に参加する場合、健康管理には万全を期して自己責任で参加申込をしていただきます様、お願いします。

参加申込時 事前健康チェック

A：下記の項目（1～4）の内、1つでも当てはまる項目があれば、大会参加の可否について掛かり付けの医師によく相談してください。掛かり付け医のもと、健康診断や心臓検診を受けてください

- 1. 心臓病（心筋梗塞・狭心症・心筋症・弁膜症・不整脈等）の診断を受けている、もしくは治療中である
- 2. 突然、気を失った事（失神発作）がある
- 3. 血縁者に、いわゆる「心臓マヒ」で突然亡くなった方がいる（突然死）
- 4. 最近1年以上健康診断を受けていない

B：下記の項目（5～8）は、心筋梗塞や狭心症になりやすい危険因子です。あてはまる項目があれば掛かり付け医に相談し、大会参加前までに状態を安定させてください

- 5. 血圧が高い（高血圧）
- 6. 血糖値が高い（糖尿病）
- 7. コレステロールや中性脂肪が高い（高脂血症）
- 8. たばこを吸っている（喫煙）

※掛かり付け医とは、皆さんの健康や体調を管理してくださっている身近な医師です

※掛かり付け医をきちんと決めて、各種の検査や大会参加等について相談しましょう

「安全確保と事故防止のための注意事項」

パワーリフティングは極限の重量を扱う競技特性上、一瞬の油断が重大な事故や怪我につながるリスクがあります。選手・役員・スタッフ全員がリスクを認識し、相互の安全確保に努めてください。特に以下の事項を厳守してください。

1. 選手の遵守事項

【スクワット・ベンチプレス：バーベルの放棄（ダンピング）禁止】

・試技に失敗した場合でも、バーベルを後ろへ投げ出したり、手を離したりしないでください。補助員を巻き込む重大事故につながります。立ち上がれない場合でも、必ずシャフトを握ったまま、補助員のサポートを受け安全にラックへ戻してください。

【器具の取り扱いと怪我防止】

- ・カラーの装着義務：ウォーミングアップエリアであっても、試技を行う際は必ずカラー（留め具）を装着してください。プレート落下による怪我を防ぐためです。
- ・デッドリフトの降下：「ダウン」の合図後、バーベルを足の上に落とさないよう、足幅やコントロールに十分注意してください。
- ・用具の点検：リフティングスーツ等の劣化や縫製のほつれは、試技中の破損事故につながります。必ず事前に自己点検を行ってください。

【健康管理】

- ・当日の体調不良や怪我の兆候がある場合は、無理をせず棄権する勇気を持ってください。

2. 補助員（スポッター）の遵守事項

【確実な補助と自身の安全確保】

- ・足元の安全確保：プレートにつまづかないよう整理整頓を徹底してください。また、補助中は絶対にプレートの真下に足を入れないでください。
- ・常時の集中：常にバーベルの落下や選手のバランス崩れを想定し、即座に対応できる構え（低い重心）を維持してください。
- ・確実な受け渡し（ベンチプレス）：センター補助は、選手がシャフトをコントロールできたことを確認してから、慎重に手を離してください。
- ・共倒れの防止（デッドリフト）：選手が後方へバランスを崩した場合、一緒に倒れ込まないように腰を落として支え、選手の動きを注視してください。

3. 会場内全般・その他の注意事項

【搬入出・移動時の注意】

・プレートやラック等の重量物を運搬する際は、指詰めや落下による足への怪我、施設の破損に十分注意してください。特に大会終了後は疲労が蓄積しているため、慌てず慎重に作業を行ってください。

【観戦・待機時のマナー】

- ・ウォーミングアップ場は危険が伴います。選手・関係者以外は立ち入らないでください。

「クリーンスポーツの実現とアンチ・ドーピング規則違反の根絶に向けて」

近年、世界的にアンチ・ドーピング活動は高度化・厳格化しており、JADA(日本アンチ・ドーピング機構)も「クリーンスポーツ」の実現に向け、意図的な不正だけでなく、知識不足による「うっかりドーピング」に対しても厳しい姿勢で臨んでいます。過去、JPAIにおいてもドーピング陽性事例が発生し、個人の資格停止処分のみならず、協会全体の社会的信頼が失墜する事態となりました。「体内に摂取するものへの責任は、全てアスリート自身にある(厳格責任)」という原則を今一度強く認識してください。「知らなかった」「意図的ではなかった」という申し開きは通用しません。選手各位におかれましては、以下の4点を徹底し、公明正大に競技へ臨んでください。

1. サプリメント摂取の重大なリスク

近年のドーピング違反事例の多くが、サプリメントへの禁止物質混入(コンタミネーション)によるものです。パッケージに成分として記載されていなくても、製造ラインでの混入等により禁止物質が含まれているケースが後を絶ちません。

原則: 食事からの栄養摂取を基本とし、安易なサプリメント利用は避けること。

対策: やむを得ず使用する場合は、「インフォームド・チョイス」や「インフォームド・スポーツ」等の第三者機関によるアンチ・ドーピング認証を受けた製品を選択することを強く推奨します。未認証製品のリスクは極めて高いと認識してください。

2. 医療用医薬品(処方薬)の確認とTUE申請

医師から処方される薬であっても、禁止物質が含まれている場合があります(例:喘息治療薬、高血圧治療薬の一部など)。

対策: 受診時は必ず「アスリートであること」を伝え、禁止物質が含まれていないか確認してください。

TUE(治療使用特例): 治療上、禁止物質の使用が避けられない場合は、事前にJADAへ「TUE申請」を行い、承認を得る必要があります。本大会はTUE事前申請対象大会です。申請期限:大会開催の30日前まで(必着)

3. 市販薬・漢方薬・のど飴等の注意点

ドラッグストアで購入できる風邪薬、胃腸薬、漢方薬、あるいは「のど飴」等にも禁止物質が含まれていることが稀ではありません。特に近年、漢方や生薬に含まれる成分(ヒゲナミン等)による違反事例が報告されています。

使用禁止成分の例(市販薬によく含まれるもの):

風邪薬・鼻炎薬:メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン(競技会時禁止)

漢方薬・のど飴:麻黄(マオウ)、南天(ナンテン)、呉茱萸(ゴシュユ)、附子(ブシ)、細辛(サイシン)など

育毛剤・強壮剤:メチルテストステロン等の男性ホルモン関連物質(常時禁止)

胃腸薬:ホミカ(ストリキニーネ)など

4. 確実な情報検索と専門家への相談

自身の判断やインターネットの不確実な情報だけに頼ることは危険です。必ず公式のツールや専門家を活用してください。検索ツール「Global DRO」:市販薬や処方薬の禁止物質を検索できます。購入・使用前に必ず自身で検索し、検索結果(照会番号)を保存してください。<https://www.globaldro.com/JP/search>

専門家への相談:判断に迷う場合やGlobal DROで「条件付き」等と出た場合は、自己判断せず、必ず「スポーツファーマシスト」のいる薬局、または都道府県薬剤師会へ相談してください。